

岩木川ダム 統管だより

024号
2019年
4月24日



【昨シーズン、運行初日の迫力ある入水の瞬間：レッツブラッシュ!!!
平成30年4月28日（土）撮影

平成29年4月に運行を開始した水陸両用バス『津軽白神号』も今年で3シーズン目の営業に突入します。今シーズンの運行開始日は、カレンダー通りの休みの方であれば、ゴールデンウィークが10連休となり、その初日と重なって、青森県内外から大勢の観光客が世界自然遺産白神山地の玄関口、ここ西目屋村、そして津軽ダムを訪れることが予想されます。

元号も間もなく『令和』となる平成最後の貴重な体感できる思い出の1つとして、心に刻まれること間違いなしです。

ダム湖に入水する瞬間、ダム湖から眺めるいつもの違う視点での風景は、非日常の貴重な体験です。

今年も津軽ダム立地村“西目屋村”は熱いです！



▲“入水の瞬間”を水陸バス内部から撮影した貴重な写真！この迫力を体感しにいらして下さい！

津軽ダムイメージ
キャラクター
ベッカー君

津軽白神湖

Tsugaru-Shirakami-Lake



岩木川ダム統合管理事務所長を紹介します

着任のご挨拶

岩木川ダム統合管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

事務所長 長内伸夫



平成31年4月1日付けで岩木川ダム統合管理事務所長を拝命した長内伸夫です。浅瀬石川ダムと津軽ダムのそれぞれの恩恵を受ける板柳町の出身です。青森県内の勤務は15年ぶりとなりますが、故郷での仕事ができることをとてもうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、浅瀬石川ダムが完成してから昨年で30年が経過し、津軽ダムは管理に移行して今年で3年目に入りました。親子ほど「年齢」が離れた二つのダムですが、この間、両ダムともに洪水調節や水道用水を始めとする各種利水補給、発電など本来の目的を果たしてまいりました。これからも地域の暮らしの安全・安心の下支えとして着実にその役割を担ってまいります。また、最近はダムを訪れる人の数も多くなり、昨年度は浅瀬石川ダムが約1.6万人、津軽ダムでは約2.3万人に達しています。地域の人口減少や少子・高齢化等が進行する中で、交流人口を増大させて地域の活性化に如何に結び付けていくかが大きな課題ですが、インフラツーリズムの振興等を通じて地域の活性化につなげられるよう関係する自治体や市民団体等との連携を図ってまいります。

こうした中で、間もなく始まるGWに合わせて、浅瀬石川・津軽の両ダムにおいては、夜間のライトアップや特別見学会などがスタートいたします。詳細は事務所ホームページでもご覧になれるので、是非ともお越しくださいようお願いいたします。

これからも地域とともに歩む岩木川ダム統合管理事務所であり続けたいと思いますので、地域の皆様方を始め、関係各位の格別のご支援とご協力をお願い申し上げ着任のご挨拶といたします。

天皇陛下御在位三十年

浅瀬石川ダム・津軽ダム 記念ダムカードを配布中



※天皇陛下御在位三十年記念ダムカードは5月31日まで配布します。

離任の挨拶

～岩木川に始まり岩木川で終わる～

岩木川ダム統合管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

前:事務所長 栗田 信博



私こと、この度4月1日付けで岩木川ダム統合管理事務所を離任することとなりました。浅瀬石川ダム管理所ならびに岩木川ダム統合管理事務所在任中は、皆様から公私にわたる一方ならぬご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

平成28年10月の津軽ダム竣工を機に、浅瀬石川ダム、津軽ダムの統合的な管理を目差し平成29年4月、新たな組織として岩木川ダム統合管理事務所が発足しましたが、この大きな節目に立ち会えたことを光栄に思います。

また昨今、全国各地で異常気象に起因する洪水災害が多発しておりますが、浅瀬石川ダム管理所長時代を含めた津軽地方での3年間、大きな災害も無く過ごせたのも皆様のおかげと感じております。

一方、インフラツーリズムとしてのダムの存在が注目される中、見学会やライトアップ、学習イベントやダムカードと色々な取り組みを推進して参りましたが、多くの方々にダムを見学して頂き、私どもの仕事をご理解頂きましたこと誠に嬉しい限りです。

津軽地方での3年間は、こみせ通り、田んぼアート、弘前公園、高山稲荷、津軽鉄道のストーブ列車、そして桜祭りやねぶた祭りといった四季折々の伝統行事、食べ物では、特産のリンゴを使ったアップルパイやジュースにはじまり、ブランド米の青天の霹靂やつゆ焼きそば、メバル御膳、しじみラーメンといった津軽地方ならではの魅力的な食べ物も堪能させて頂き、改めて津軽地方の底力を実感した3年間でした。

思い返せば、昭和58年の日本海中部地震の年に青森工事事務所（現：青森河川国道事務所）に赴任し、若い河川技術者としてスタートした河川が岩木川でした。当時は岩木川の総合的な治水対策を検討する一方、津軽ダム建設のための地質調査にも同行させて頂き、西目屋村までの道程はかなり遠かった記憶があります。そして今回携わった仕事は、完成したばかりの津軽ダムを含む岩木川の治水・利水と何か目には見えない「縁」のようなものを感じております。

最後に、ご支援頂きました沿川自治体の皆様、ご協力とご指導を頂きました各種委員会の皆様をはじめ、御世話になりました多くの皆様に対しまして心から御礼を申し上げますとともに、この津軽地方がより安全・安心で、より魅力有る地域となりますことを祈念いたしまして、離任の挨拶とさせていただきます。

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake



春の“ライトアップ&放流”

春の“桜が咲く”この時期に合わせ、ライトアップを実施します。融雪期のこの時期しか見られないダイナミックな放流と、ライトアップは必見です。春の訪れを体感しに是非、皆さんお越しください。

2018年春のライトアップ&放流



浅瀬石川ダムライトアップ

- ◆日時：2019年4月27日（土）～5月6日（月）
- ◆時間：19：00～21：00

※「クレストゲート」からの放流は、4/27（土）のみ3回（9：00・13：30・15：30）90分間実施します。間近で放流をご覧になりたい方は、13：00～16：30迄、随時、ご案内しますので浅瀬石川ダム天端付近においでください。

津軽ダムライトアップ

- ◆日時：2019年4月26日（金）～5月6日（月）
- ◆時間：19：00～21：00

※2つの「常用洪水吐ゲート」からの自然放流と、30分間で7パターンに変化するライトアップとのコラボレーションで白神山地への春の訪れを表現します。※なお、自然放流は、融雪の状況次第では、4/26以降になる場合があります。



2018年春のライトアップ&放流

お知らせ!



今年も津軽ダムが“赤一色”に染まります!

ライトアップ日時

- ☆ 2019年5月8日（水）
- ☆ 19：00～21：00

※ライトアップ終了後、ゲートを閉めますので速やかに帰ってください。
※災害等により、予告なく中止する場合があります。

津軽ダムは、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、赤十字創始者アンリー・デュナンが強く訴えた「人道」への想いに賛同し“赤十字レッドライトアッププロジェクト2019”へ参加します。昨年へ続き2回目の参加ですが、1日だけの限定カラー“レッド”でこのイベントを盛り上げます。

編集後記

平成31年度がスタートしました。最高気温もようやく2桁の日がコンスタントに続くようになり、本格的な春を肌で実感出来るようになりました。津軽白神湖の結氷は3月下旬には全く目で確認できなくなり、例年より雪解けが早い印象を受けます。特に今年のGWは、カレンダーどおりの休みであれば10連休と大型連休となることから、弘前公園のさくらの開花状況が気になるところです。なんとかGW最終日まで観光で訪れる方々の目を楽しませて欲しいと思っています。

新年度も“ダムだより”毎月発行を目標に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。（船水）

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2
TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/>

